

インクルーシブ教育システム構築に向けた支援

… インクルーシブ教育システム推進センター ……………

平成 28 年 4 月、インクルーシブ教育システム構築に向けた地域や教育現場における取組を支援することを目的として、「インクルーシブ教育システム推進センター」を開設しました。

センターでは、地域が直面する課題に対応した研究（地域実践研究）の推進、国際的動向の把握や諸外国の最新情報の収集及び海外との研究交流、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）の整備・情報提供を行っています。



地域実践研究推進プログラムにおける協議の様子

詳しくはこちら→

NISE WEB サイト > インクルーシブ教育システム推進センター
https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center

… 地域実践研究（地域や学校の課題解決に資する研究） ……………

地域や学校が直面する課題を研究テーマに設定し、その解決を目指して、NISE の研究員と各教育委員会より派遣された地域実践研究員が協働して研究に取り組みます。1 年間の長期派遣型研究員制度に加え、平成 29 年度からは短期派遣型研究員制度、平成 30 年度からは市町村教育委員会からの派遣制度を設け、地域とのより一層緊密な連携協力関係をつくり、課題解決につなげるとともに、研究成果やインクルーシブ教育システムの最新情報を提供することで、地域の理解啓発を推進します。

◆ 地域実践研究テーマ一覧

	研究テーマ	
	メインテーマ 1	メインテーマ 2
	インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究	インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する実際研究
平成 28・29 年度	地域におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する研究	交流及び共同学習の推進に関する研究
	インクルーシブ教育システムの構築に向けた研修に関する研究	教材教具の活用と評価に関する研究
平成 30・令和元 年度	教育相談・就学先決定に関する研究	多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究
	インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究	学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究
令和 2 年度	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究	交流及び共同学習の充実に関する研究

… 地域実践研究の成果の普及と活用 …

◆ 地域実践研究フォーラム

地域実践研究に参加している都道府県・市において、地域実践研究の成果を速やかに普及し、インクルーシブ教育システム構築の推進に資することを目的として、「地域実践研究フォーラム」を開催しています。

令和元年度においては、以下の4県市5会場において開催しました。

○インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究

青森県、埼玉県

○多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究

静岡県（特別支援教育課）、横須賀市

○学校における合理的配慮及び基礎環境整備に関する研究

静岡県（義務教育課）

これらの地域実践研究フォーラムには、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員、県教育委員会及び市町村教育委員会の職員、保護者など、800名程の方々（各フォーラム25～500名参加）が参加し、NISEや地域実践研究に対する期待や要望が寄せられました。



埼玉県における地域実践研究フォーラムの



静岡県における地域実践研究フォーラムの様子

◆ 地域実践研究事業報告書

地域実践研究の研究成果は、「地域実践研究事業報告書」としてまとめ、国や都道府県・市町村教育委員会、学校等に広く提供しています。



平成28・29年度報告書



平成30年度報告書



令和元年度報告書



詳しくはこちら→

NISE WEB サイト > 地域実践研究事業

https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center/region

… インクルーシブ教育システム普及セミナー ……………

地域におけるインクルーシブ教育システムの推進をバックアップすることを目的として、普及セミナーを開催しています。以下の地区で、開催地の教育委員会と共催し、各地域・学校における多様な取組や講演、インクルーシブ教育システム推進センターの活動報告等を通し、取組と知見を共有しました。

- 平成28年度 北海道（北海道・東北地区）
- 平成29年度 沖縄県（九州・沖縄地区）
岡山県（中国・四国地区）
- 平成30年度 奈良県（近畿地区）
- 令和元年度 静岡県（中部地区）

令和元年度は、静岡県立大学において、静岡県教育委員会との共催で、令和元年12月14日（土）に開催しました。県内外から幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員、教育委員会、医療・福祉機関の関係者、保護者、学生等、約150名の方々にご参加いただきました。

セミナープログラムは2部構成で、第1部は研究所の取組から、インクルーシブ教育システムに関するミニ講座、地域実践研究、国際動向について報告しました。第2部では、静岡県教育委員会から県の取組についての報告後、4つの分科会が開かれました。各分科会のテーマは以下のとおりです。それぞれのテーマに沿った学校や機関の充実した取組が報告され、参加者との間で協議が行われました。

- I－1 多様性の理解を組織的に進める校内体制
- I－2 障害のある人のキャリア発達と生涯学習支援
- II－1 中学校・高等学校における通級による指導
- II－2 小学校・高等学校における特別支援学校分校の共生・共育

今後、それぞれの地域や学校において、セミナーで得た情報をもとに取組が広がっていくことを期待しています。

令和2年度は、以下の開催を予定しています。

期 日：令和2年11月28日（土）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

テーマ：国内外の取組から今後は展望する

国内における地域実践研究事業を始めとした地域や学校のさまざまな取組及び海外におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する施策や取組等から、我が国における今後の課題や展望を考えたいと思います。



静岡県で開催されたインクルーシブ教育システム普及セミナーの様子



セミナーにおけるインクル DB 紹介コーナー

… 諸外国の最新動向の把握や海外の機関との研究交流 ……………

◆ 諸外国の最新動向に関する情報収集と発信

NISE では、我が国の特別支援教育の取組や研究成果を海外に情報発信するとともに、国別調査班を組織し、特任研究員の協力により諸外国の障害のある子供の教育に関する政策等の状況を収集しています。その調査結果は、NISE 特別支援教育国際シンポジウムや小冊子「諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向」、特総研ジャーナル等を通じて公表しています。



小冊子「諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向」

◆ NISE 特別支援教育国際シンポジウムの開催

各国のインクルーシブ教育システムに関する施策や教育実践について見聞を広め、日本の教育実践についても振り返り、今後の我が国のインクルーシブ教育システム推進の方向性を考える機会として国際シンポジウムを開催しています。

【 NISE 特別支援教育国際シンポジウムテーマ 】

第1回（平成28年）「各国のインクルーシブ教育システムの構築の取組の現状と課題」

第2回（平成29年）「発達障害教育について学ぶーアメリカ、イギリスの教育実践から学ぶー」

第3回（平成30年）「インクルーシブ教育システムの推進ー日英の取組の現状から、今後を展望するー」

第4回（平成31年）「障害のある子どもと障害のない子どもの交流をめざしてー日韓の取組から今後のインクルーシブ教育システム推進を展望するー」

第5回（令和2年）「子どもの学習のつまずきに速やかに対応する取組ーフィンランドの教育実践から今後を展望するー」



国際シンポジウムにおけるディスカッション



韓国国立特殊教育院との覚書署名式（令和元年度）

◆ 海外の研究機関等との交流

海外の研究機関等と交流協定を締結し、研究職員の派遣や海外からの研究者等の招聘等、特別支援教育やインクルーシブ教育システムに関する情報交換や研究者間の交流を行っています。令和元年度は、韓国国立特殊教育院主催の「特殊教育対象の子どものための教育実践に関する国際比較分析」研究に参加しました。

【 研究交流協定締結機関 】

韓国国立特殊教育院（平成7年11月締結、令和元年7月再締結）

ケルン大学人間科学部（平成10年11月締結）

フランス国立特別支援教育高等研究所（平成27年3月締結）

◆ 研究職員の海外派遣や海外の研究者等の受入

国際会議への参加・発表やインクルーシブ教育システムに関する状況調査等のため、研究職員を海外に派遣し、研究交流を行っています。また、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の依頼により、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修を受け入れています。

令和元年度 研究職員の海外派遣者数：13名 外国人研究者等の受入数：22カ国124名

… インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB） …

平成 24 年 7 月、中央教育審議会初等中等教育分科会において、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」が報告されました。

これを受けて、NISE では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を広く提供するために、「インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）」を、平成 25 年 11 月から運用しています。インクル DB は、子供の実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を掲載しています。

また、各地域で開催される普及セミナーや本研究所セミナー等で「インクル DB 体験コーナー」を設け、検索の仕方や掲載事例等を紹介しています。

◆ インクル DB のコンテンツ

【 合理的配慮実践事例データベース 】

文部科学省の委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」及び「発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業」において取り組まれた実践事例について掲載しています。

実践事例データベースはⅠ、Ⅱに分かれており、データベースⅡは、閲覧いただく方の利便性を考え、A4 2 ページにまとめています。

令和 2 年 4 月 1 日現在、472 件の実践事例を掲載しています。

【インクル DB を活用した研修例】

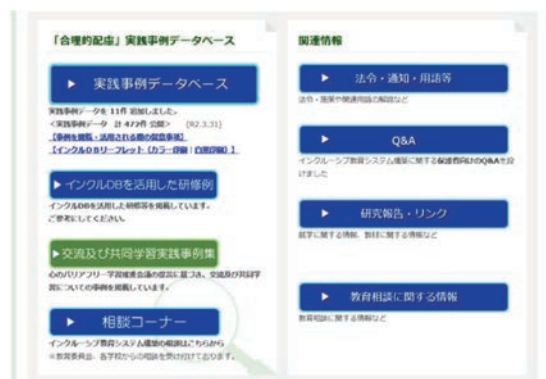
インクル DB を活用した研修プログラム案や実際に行われた研修や授業等を紹介しています。

【 交流及び共同学習実践事例集 】

心のバリアフリー学習推進会議の提言に基づき、交流及び共同学習についての関連情報や事例を掲載しています。

【 関連情報 】

- ・ 障害者の権利に関する条約への対応
- ・ 関連する法令・施策
- ・ 関係用語の解説
- ・ Q&A
- ・ その他関連情報



詳しくはこちら→

インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）
<https://inclusive.nise.go.jp/>

… インクル DB の活用に関する相談支援 …

NISE では、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、都道府県・市町村・学校が直面する課題解決を支援するため、各都道府県・市町村・学校からのインクル DB の活用に関する相談に応えています。